ボーリング柱状図

調査名　県道町川原福岡線（浜男橋）地質調査委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	福岡県福岡市東区香椎駅前3丁目地内					北緯	33° 39' 40.6"
発注機関	福岡市東区役所			調査期間	平成 17年 12月 20日 ～ 18年 2月 27日			東経	130° 26' 31.8"
調査業者名	有限会社アサヒ試錐工業 電話（092-821-0676）	主任技師	伴一外志	現場代理人	伴信一郎	コア鑑定者	田中博宣	ボーリング責任者	重松栄志
孔口標高	TP +2.14m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機 YBM-05 / ハンマー落下用具 コーンプーリー
総掘進長	10.00m								エンジン NFD8 / ポンプ GP-3

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1 2					盛土（砂礫）	暗灰～暗緑灰			0.1mまでアスファルト 0.1～0.4m間クラッシャーラン 0.8～0.9mは海砂の埋戻し土 φ5～10mm大の角礫を混入し、下部に従って多くなる 2.1～2.8m間はコンパネ片 2.6m以深はφ40mm大の角礫混入し、マトリックスは粘土
3	-0.81	2.95	2.95		頁岩（風化岩）	灰			全体に風化し、岩片はハンマーの軽打で礫状に崩れる 5～10cm程度の短棒状コア
4	-1.56	0.75	3.70		炭質頁岩（風化岩）	暗茶灰			5～10cm程度の短棒状コア 岩片はハンマーの軽打で崩れる程度 層理面が発達し円盤状に割れる
5	-2.76	1.20	4.90		頁岩（風化岩）	乳灰			全体に風化し、岩片はハンマーの軽打で礫状に崩れる 5～10cm程度の短棒状コア
6 7 8 9 10	-4.26	1.50	6.40		頁岩（軟岩）	暗緑灰			岩片は比較的新鮮な硬質頁岩 所々砂岩はさむ RQD=50～100%で下部ほど亀裂が少ない 5～80cmの短棒状～柱状コアで採取
	-7.86	3.60	10.00						

孔内水位(m)／測定月日：1/11 1.70

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
3.15	18	24	8/4	50/24	63
3.39	14	27	9/2	50/22	68
4.15	14	21	15/6	50/26	58
5.15	5	10	35/4	50/24	63
5.41					
6.15					
6.39	50/5			50/5	300
7.05					
7.10	50/3			50/3	500
8.00					
8.03	50/2			50/2	750
9.00					
9.02	50/2			50/2	750
10.00					
10.02					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1.80 / 2.00	C-1		粒度	1/11
5.70 / 5.80	C-2		一軸	
7.25 / 7.40	C-3		一軸	1/12
				1/13

・本資料は，工事等により現況と整合しない場合があり，現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
・本資料は，参考データとして利用し，現在の地質状況は，再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。